

木 もちゅー暮らし

(有)小川耕太郎・百合子社の

国産材商品へのこだわり

(有)小川耕太郎・百合子社

竹村裕二



日本の森林の歴史と現状

よく日本は「資源の乏しい国」だといわれます。でも森林に関しては森林率が67%にもなるフィンランドに次ぐ世界第2位の森林資源国なのです。豊かな森林のイメージがあるロシアで5割、カナダや米国で3割ですから、いかに日本が緑に覆われた国土であるかがわかるかと思います。そして日本の森林のもうひとつ特徴は、人口林率が40%も占めていることです。ロシアは2%、米国が5%など、日本の人工林率だけが突出しているのです。この高い森林率と人口林率は、昔から日本人が深い森と緑を大切に守り、植樹し育ててきたからだと想像されるかもしれませんのが、けつしてそうでもないのです。太古より建築資材や薪のために天然林は大量に伐採され、奈良や京都に都が造営されれば、周辺の山々は禿山や灌木林と化し、江戸時代にも用材や燃料の薪炭のため、木々が大量に消費されていました。明治以降に蓄積を持ち直した森林は、しかし、第一次世界大戦中と戦後で、また徹底的に伐り尽くされました。その後に一斉拡大造林政策が打ち出され、日本中の山々に杉、ヒノキ、カラマツなどが植林されていきます。その実施から50年以上が経過し、いま多くの植林山が成熟し、伐期を迎っています。深山の天然林まで人工林に植え替えたのは行き過ぎだったという反省はありますが、日本の有史以来、いまが森林率と蓄積量で最高の数値にあるのは、戦後の国の植林、緑化政策は大成功だったと言えなくもないのです。



なぜでしょうか？ その理由は「国産材やその製品は、ユーザーのニーズ、あるいはその変化に適合できないからだ」とも考えられます。国産材は伐採や搬出のコストが高くつく、流通経路が複雑でコスト高、大量のロットや納期に対応できない、乾燥や寸法など品質の不安定性がある、住環境やライフスタイルの変化によるニーズに対応できていないなど、商品としての総合力で、外材に後れをとっている部分が多いことが否めないです。

人工林の循環サイクル

世界的にみれば、森林は木材需要の増大や砂漠化により、確実に枯渇しつつある資源です。5年で日本の国土に相当する森林が地球上から消えていっているのです。ア

ジアの熱帯雨林やアマゾンジャングルの乱伐や違法伐採のイメージからか、日本の木もあるべく伐らないほうがいいと誤解されている場合があります。日本の森林の内、

お客様のニーズが何なのか、たとえば安全性や使い勝手、施工性やデザイン、質感など、何らかの付加価値や魅力を盛込み、それをきちんと提案し、その後のフォローアップまでに責任をもつ、小川社はそんな商品作りを目指しています。そして、

国産材商品への想い

今後は外国産材から国産材の利用へシフトしていく。これは必然の流れです。

しかし、お客様のニーズや山元の実情に機械の効率化が不可避の課題となっているのです。

0万m³は山に切り捨てられています。山に置き去りにされている間伐材や残材をいかに商品化やバイオマス利用などにつなげていくか、そのための作業網の拡充や林業

機械の効率化が不可避の課題となっているのです。

木材需要の50%を国産材で充てたとして蓄積量を減らすことがないといわれるほどに、いまの日本の森林には潜在供給力があります。毎年、日本では4000万m³ほど木が伐られ、そのうち1900万m³は木材利用されていますが、半数以上の210

自給率改善のために

国や業界もこの現状を開拓するため、新

たな方策や取り組みに着手しています。農

林水産省は2020年には、木材自給率目標を50%に設定し、公共建物に国産材を使用するガイドラインを設けています。現在

に

18%まで落ち込んだので、これでもまだマ

シになつたと言われるほどです。日本の山には十分な蓄積があり、たとえば「日本の杉の立木は、いまや世界でもっとも安い木のひとつ」といわれるほど安価になったのに、相対的に高くなつたはずの外材がいまだに大量に海を越えて運ばれてくるのは、なぜでしょうか？ その理由は「国産材やその製品は、ユーザーのニーズ、あるいはその変化に適合できないからだ」とも考えられます。国産材は伐採や搬出のコストが高くつく、流通経路が複雑でコスト高、大量のロットや納期に対応できない、乾燥や寸法など品質の不安定性がある、住環境やライフスタイルの変化によるニーズに対応できていないなど、商品としての総合力で、外材に後れをとっている部分が多いことが否めないです。



林水産省は2020年には、木材自給率目標を50%に設定し、公共建物に国産材を使用するガイドラインを設けています。現在

に

18%まで落ち込んだので、これでもまだマ

シになつたと言われるほどです。日本の山

には十分な蓄積があり、たとえば「日本の

杉の立木は、いまや世界でもっとも安い木

のひとつ」といわれるほど安価になった

のに、相対的に高くなつたはずの外材がいま

だに大量に海を越えて運ばれてくるのは、

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材に後れをとっている部分が多いこ

とが否めないです。

なぜでしょうか？ その理由は「国産材や

その製品は、ユーザーのニーズ、あるいは

その変化に適合できないからだ」とも考

えられます。国産材は伐採や搬出のコスト

が高くつく、流通経路が複雑でコスト高、

大量のロットや納期に対応できない、乾燥

や寸法など品質の不安定性がある、住環境

やライフスタイルの変化によるニーズに対

応できていないなど、商品としての総合力

で、外材